

令和5年度 実践事例

「2023年 繋がりを創造する」 ～ アナログとデジタルのハーモニー ～

1 はじめに



令和5年度のテーマを「アナログとデジタルのハーモニー」としました。合言葉は、「アナログとデジタル、それぞれを使いこなすと、何か面白いことが始まりそう！」です。

「感じる 考える つくる 伝える」をコンセプト（基本的な考え方）に、芸術・文化、世代間をつなげ、「想像から創造へ、そして共有する」ことを通して、「つくる楽しみ」が広がっていくことを期待しました。

ここでは、令和4年度の秋講座から取り組んでいる Peace Creation from Sanwa（ピースクリエーション フロム 三和）の変容・進化を含め、令和6年度の主催講座「デジタルクリエーション」と「ピースクリエーション」へとつながっていく過程を紹介します。以下、「デジタル&ピースクリエーション」と呼びます。

なお、キーワードは「人と人との交流」です。

2 講座「デジタル&ピースクリエーション」の企画から運営まで

(1) 企画の始まり

- 特にシニア層において、加速化するデジタル社会への対応ができておらず、情報格差や孤立化が進んでいる。また、高齢者のデジタルデバイドの解決は全国的な課題にあるが、ICTを取り入れた社会教育の創造的な学びはまだ少ない。
- 本市では小中高12か年を通して平和教育が行われているが、市民向けの平和教育の実施事例は少ない。世界情勢が厳しく不安定な今、世界平和への創造に向けた社会教育の学びが課題である。
- 情報化やグローバル化、SDGsに向けた取組は社会全体の解決すべき課題であり、公民館が果たす役割が期待される。

以上3点が講座「デジタル&ピースクリエーション」の取組を進めた主な要因・背景であり、この企画はデジタル時代の流れから必然的に誕生したと言えるでしょう。

(2) 取組内容・運営の実際（見せ方の工夫等）

A デジタルクリエーション

①【シニア向け☆初めての映画づくり】

全世代に向けたデジタルシティズンシップ教育に取り組む「B Lab 長崎」と連携し、スマホ、iPad等のデジタルデバイスを利活用した趣味や生きがいにつながる創造的な学びの機会を創出することにしました。

具体的には、公民館所有のiPadを使い、趣味や思い出、地域の自然・文化を題材としたオリジナル作品づくりに挑戦するといった内容です。

また、地区公民館と連携し、「スマホの楽しさを広げる」講座を行いました。



さらに、講座後もラインでの個別相談や補講などのサポートを行い、YouTubeでのアーカイブ配信、HPで操作方法の手順を手引きするなど、見直しができるようにしました。そして、完成した作品を自分のスマホに共有し、最後は受講者全員で観賞会を行いました。

令和5年度も上記内容を継続しつつ、AIなどの最先端テクノロジー情報や「つくる楽しみ」が広がるテクニック等を紹介しました。また、受講生の作品上映会についてはピースクリエーション当日、エントランスにて随時上映し、多くの方々が視聴できるようにしました。

ところで、「B Lab 長崎」より、「講座以外でもiPadで作品作りができるように、また、いつでも楽しめるような環境を整える必要があるのでは」と提案され、新規事業としてiPad体験教室の環境を整えることにしました。併せて、タブレット端末の利用ガイドラインをはじめ、iPad管理表、iPad利用申込書、館内利用サービスに関する案内等を整備し、毎週木曜日（第3木曜日を除く）、午後2時～午後4時に実施することにしました。現在、4人（女性）が利用しています。

②【レコードを愉しむ DJ体験】

子ども心をくすぶり五感で体験できる参加型の創造的なワークショップとして、「アートとテクノロジーの融合」を意識した講座の開発を試みました。プロDJによるやさしくわかりやすい指導の中で、音響機器を操作します。自分の好きな音楽を選び、音と音を組み合わせ、自分だけの新しい音楽を作り出していきます。



そして、ピースクリエーションの中で、受講生によるDJ実演の機会をつくりました。また、ピースクリエーションでは、特別企画として、プロDJとダンサーとのコラボレーションを行いました。

クラブミュージックの成長とともに、DJはダンスミュージックの担い手として活躍しており、TV等で観る方がほとんどの中、生DJを観覧・体感できる絶好の機会となりました。

B ピースクリエーション（ダンス）

「感じる 考える つくる 伝える」をコンセプトに体験型ワークショップを取り入れ、生きる喜びを分かち合う機会としてスタートしました。具体的には、「感じる」では、ダンス鑑賞。「考える」では、ピーストーク。「つくる」では、ダンス体感。「伝える」では、ダンス表現。他、歌とダンスのコラボや平和映像をバックにギターの弾き語りなど、特別企画をもってプログラムに変化を加えました。なお、平和をテーマとした作品づくり「デジタルクリエイティブ講座」を行い、平和講座当日は作品展と iPad が体験できるブースを設けました。

令和5年度は、講座「レコードを愉しむ DJ体験」の受講生による実演をはじめ、BGMをDJが担い、また、DJとダンスコラボ、DJと「ピース・バイ・ピース長崎」代表の前田氏とピーストーク、映像上映、さらには、小中高生並びに来場者との多世代ピーストークを行いました。また、ダンス表現では、講座「シニア向けヒップホップダンス」の受講生も出演しました。

なお、公民館と「B Lab長崎」と「ピース・バイ・ピース長崎」と「スペースユニオン」はオープンに意見を言える関係にあり、このフラットな関係がより創造的なピースデザインへとつながっています。



エントランスのキッズコーナーも「創造的な豊かなものにできないだろうか。」そこで、昔話などの物語からキャラクターをつくる「物語おりがみ」コーナーと福笑い風「変顔」コーナーを設置してみました。

また、つくったものを iPad で撮影、共有しあうことで、コミュニケーションの機会が広がることを期待しました。



さらに新規講座として、市民向けの講演会「長崎平和学」を午前中に実施しました。ピースクリエーション（ダンス）は、多世代における平和への想いを共有する機会、また、講演会を入り口に平和な世界について考える機会としております。



(3) 取組の成果や効果

A デジタルクリエイション

① 【シニア向け☆初めての映画づくり】

デジタル社会での趣味・生きがいや社交の場を生み出すことができました。なかにはオンライン受講に取り組む高齢者も現れました。映画づくりを通して人生を豊かに生きることや人とのつながりを感じあうことができ、同時にデジタル機器への不安や怖さも軽減できたようです。

そして、令和5年度の取組を終えて感じるのは、受講生に創作意欲の高まりがみられたことです。「こんなことができるの。」「こんなこともできるの。」上手にできなくても、また、やり方、使い方がわからず諦めかけても、傍で寄り添ってやさしく教えてくれる講師（若者）がいてくれるから続けられたようです。

「誰もがクリエイターになれる時代です」という言葉に励まされ、次回講座を楽しみにしている様子もうかがえました。また、「このような講座を待っていました！」という声もたくさん耳に入りました。受講生の目が輝き、創造力と表現力、編集力が身についていくデジタル講座でした。

B ピースクリエーション

「人は繋がりあって成長する」という言葉が適当であると感じます。表現すること（ダンス）を通して、自分の伝えたい想いをカタチにしたり、他人と喜びや幸せを分かち合ったりすることができました。それぞれが思い思いに感じたことをカラダや言葉で表現します。

踊りが披露されるたびに、会場は笑顔と歓声に包まれていきました。

また、世代間を超えた「気持ち」の一体感も生まれました。それは、「子どもたちの前途が幸せの降り注ぐ輝かしいものになりますように」と願う気持ち

です。すべての人が幸せに生きることのできる世界を求めています。

今後、世界じゅうの子どもたちとのダンスコラボレーションをはじめ、「人と人との交流」環境を創出できればと考えます。

そして、ピースクリエーションを軸に地域、世代を超えたコミュニティができ、「新しい平和と調和の世界」が築かれていくことを願います。



(4) 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 取組の検証・改善は、現場での生の声を地道に聞き取り、有効活用している。特に雑談の中に改善策のヒントがあり、事前・事後アンケートに加えて、数日経過後、他の講座を受講する際に意見を頂戴している。
- 計画段階から講座終了までは、状況に応じて柔軟に対応するなど、その場で取組の検証・改善を行っている。
- PDCAを意識した公民館運営は、各種会議等において助言・相談の機会を設けている。

以上、3つの視点を掲げましたが、ここでも大切なことは、「感じる 考える つくる 伝える」のスパイラルを基本に、ワクワクと夢中になれる創造的な講座を開発・実践することだと思えます。

3 おわりに

(1) 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館は地域住民の学校であり、ヒト・モノ・コトを繋げ、新たな価値を創造する学びの場として捉えています。地区公民館、自治公民館との連携・協働も進めて、ここに住む市民らが心豊かに幸せ（平和）に暮らせることができる地域づくりに貢献したい。

併せて、子供たちが将来、どこに住もうが、地域の一員として貢献できるよう、世代間を超えた講座の開発に注力していきます。

(2) これからの公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

令和6年度は「ローカル化とグローバル化の調和」をテーマに講座を通して世界じゅうの人たちと交流し、新しい文化の創造と平和な世界を生み出す活動を展開できればと考えています。右写真「南蛮ぼーど」は、蚊焼包丁の鍛冶技術と欧州の看板づくりの融和の中から生まれた長崎伝統工芸品です。現在は、制作しておりませんが、まずは、地元の紹介動画を通じて世界と繋がり、文化面でも産業面でも、市民レベルでの国際コミュニケーションを開拓していく計画です。



結びになりますが、世界と繋がる楽しみを体験できる講座を開発することで世界と繋がり、みんなで一つの平和な世界をつくるようなきっかけづくりができれば幸いです。

そして、アナログとデジタルを調和させた新しい文化体験の在り方を探るとともに、デジタル時代の新しい学びを創出していきたい。

☆令和5年度講座一覧（※下線部分は自主成人講座）

<春講座>

- ①「長崎歴史探訪」 ②「ふるさと歴史散策」 ③「薬草で健康」
- ④「ゲームで楽しむ英会話」 ⑤「楽しいパンづくり教室」
- ⑥「時短・かんたん料理教室」 ⑦「珈琲手焙煎体験」
- ⑧「和紙の花OR I ART」 ⑨「己書」 ⑩「四季を感じる心のうた」
- ⑪「切り絵の世界」体験 ⑫「絵画教室」
- ⑬「e-エクササイズ」 ⑭「楽笑スクエアステップ運動」 ⑮「健康体操」
- ⑯「シニア向け☆ヒップホップダンス」 ⑰「バウンドテニス」
- ⑱「シニア向け☆初めての映画づくり」 ⑲「楽楽体験スマホセミナー」

<秋講座>

- ①「シニア向け☆初めての映画づくり」 ②「ドライフラワーオブジェ作り」
- ③「ハーバリウムボールペンを作ろう」 ④「ピラティス&ストレッチ」
- ⑤「リンパドレナーージュエクササイズ」 ⑥「癒しのアロマ時間」
- ⑦「おうち創作料理」 ⑧「己書」 ⑨「シニア向け☆ヒップホップダンス」
- ⑩「楽しいパンづくり教室」 ⑪「珈琲社交場」 ⑫「ゲームで楽しむ英会話」
- ⑬「レコードを愉しむ」 ⑭「ふるさと歴史散策」 ⑮「長崎平和学」
- ⑯「スッキリきれいなおへやとわたし」 ⑰「楽笑スクエアステップ運動」
- ⑱「和紙の花OR I ART」 ⑲「楽楽体験スマホセミナー」
- ⑳「長崎歴史探訪」 ㉑「薬草で健康」 ㉒「バウンドテニス」
- ㉓「英語でフラワーアレンジメント」